

2020年度  
埼玉地区主題

主にある交わりを  
深めよう

日本基督教団関東教区

# 埼玉地区通信

2021年3月28日

発行人  
日本基督教団 関東教区 埼玉地区委員会  
委員長 小林 眞  
さいたま市岩槻区本町4-3-15  
http://www5b.biglobe.ne.jp/~saitama/  
印刷所 (株)シャローム印刷

## コロナ禍にある埼玉地区の昨日、今日、そして明日

「わたしたちは、目に見えないものを望んでいるなら、忍耐して待ち望むのです。同様に、『霊』も弱いわたしたちを助けてください。わたしたちはどう祈るべきかを知りませんが、『霊』自らが、言葉に表せないうめきをもって執り成してくださるからです。」 ローマ書8章25〜26節

今年度の埼玉地区の歩みを振り返るに当たり、まず主の御守りと、また地区内諸教会・伝道所の皆様の祈りとご協力を感謝致します。

私たちの教会は、その信仰告白において、「教会は公の礼拝を守り、福音を正しく宣べ伝へ、バプテスマと主の晩餐との聖礼典を執り行い、愛のわざに励みつつ、主の再び来たりたまふを待ち望む」と、告白しています。ここには、私たち教会の為すべき業があらわされていますが、私たち教会が為すべき業を如何に為して行くのかと、これほど深刻に問われたことは近年ほとんどなかったのではないのでしょうか。昨春から新型コロナウイルス感染症が流行し、この未曾有の禍は、私たちに隣人との距離を取らざるを得なくさせ、礼拝や聖餐の交わりをも大いに妨げるものであったからです。日本基督教団が

らは注意喚起が出され、日本政府からも緊急事態宣言が発せられ、これまで経験したことのない困難に直面し、私たち教会の為すべき業を為して行くために、様々な感染予防対策を取り、礼拝をオンライン化するなど、主に祈りつつ大変苦心されたことと存じます。

埼玉地区も、コロナ禍の事態に遭遇して、地区規則第一条の「この地区は、日本基督教団の教憲・教規および同教団の規則、関東教区の規則の定めるところに従って、地区内諸教会・伝道所の一致と連帯の強化に努め、福音の前進に仕えることを目的とする」というこの地区の目的を果たすために、主にあつて祈りを深め、

様々な意見や考え方を受け止めつつ歩んでまいりました。地区は感染のリスクを抑えるため、止むを得ず地区総会を書面開催とした他、常設委員会やその他の働きにおいても、多くの集会や行事を延期また中止とせざるを得ませんでした。今年度を迎えるに当たって埼玉地区としては、地区内諸教会・伝道所の礼拝出席者数減少を見込み、地区分担金を例年より75%分を減額して予算を立てました。今年度に入ってから、幾つかの教会・伝道所を問安し、多くの教

会・伝道所が、コロナ禍での厳しい状況に置かれていた実情を痛みをもつて覚えるほかありません。

現況を見る限り、先行きは不透明であると言わねばなりません。今後も地区は日本基督教団・関東教区と連携し、健全な地区活動のために努めてまいります。地区内の教会・伝道所の財政状況の急激な悪化に伴い、地区分担金をより大きく減額することは喫緊の課題であり、地区活動も多方面において縮小・再構築していく必要があります。ただ、このことは別の見方をすれば、地区活動をより洗練化する好機であると捉えることもできます。また、大規模な集会や行事を行うことは困難ですが、地区(特に三役)は足を動かして問安し、地区内の血流・交流が滞ることのないよう、注力したいと思えます。

なお困難が続く様相を呈しています。地区の目的の達成のために、地区内の諸々の働きが主に用いられることを願っています。夫々が各個教会主義に陥ることなく、特に最寄り区の交わりを通して近況を確認し合い、互いに祈り合い、助け合ってもらいたいと存じます。諸教会・伝道所の皆様の祈りとご協力をお願い致します。

皆様の健康と命が充分に守られ、私たちの教会の為すべき業が豊かに展開されますよう、心から祈ります。

(地区三役)



この一年  
間を振り返る時に、新型コロナウイルス

ル感染症防止のため、多くの教会が画像や音声などを配信して礼拝や祈祷会の対応をされていると思います。地区、教区、教団の委員会などの多くが、インターネット等で行われると聞いています。同時に、インターネットを使えない方々へのフォローが不可欠です。心を用い、足を運ぶことは実に大切なことです。

オンラインで礼拝に参加している人から、「病気で礼拝に集えない自分にとって、オンライン礼拝は有り難いです」と言われました。集えない方にとってオンライン礼拝は有効ですし、これからの活用度は高いです。

ところが先日、20年程前に遠くに越された方から「オンラインで初雁教会の礼拝を見ています」と言われ、嬉しかったのも束の間、その地での教会生活に滞るのではないかと心配していました。インターネットの便利さは、これからの教会には使える道具です。けれども、信仰生活が「手軽なオンライン信仰」になつてはいけなさと思われました。

(町田)

# 祝 授 按

## あのフィリピのように



狭山教会  
大久保 一秋

皆様のお祈りに支えられ、按手礼を受けることができたことに感謝いたします。先生がたの手が私の頭の上に置かれた時の感覚は、「何という重さ!」の一言に尽きます。あの重さはどこから来たのかと、考えてきました。その答えは、あの日お聞きしたみ言葉の中にあるように思われてなりません。フィリポがガザに下る途上、エチオピアの高官に洗礼を授ける場面です。福島純雄先生は、「そこは寂しい道である」(使徒言行録8章26節)と繰り返されました。

## 健全な教会形成のために



埼玉中国語伝道所  
森永 憲治

按手を受けて正教師として埼玉中国語伝道所に奉仕することになりましたが、聖餐を正しく執行することはもちろん、第一週の礼拝時には日本基督教団信仰告白も唱えるようにし、今後も教団の牧師として、教団の教会として、伝道に励んで参りたく、皆様宜しくご指導願います。

現在緊急事態宣言発令中。大宮会堂も川口会堂も閉鎖してもズームで礼拝を守っています。金曜日・日曜日にズーム礼拝を続けると、コロナで来られなかった中国人信徒だけでなく、遠方の日本人も参加して下さり、嬉しい限りです。

正教師になって病床聖餐ができるようになり、老人ホーム等のクリスチャンにやつと聖餐式ができるようになりました。それはコロナ等の事情で教会に来ることのできない中国人信徒と同じです。

正教師として、教会形成を健全に進めていこうと思います。

## 按手を受けて



所沢武蔵野教会  
渡邊典子

主のご命令「牧師となり福音を宣べ伝えよ」により、3年前に准允を受け、今回は按手となりました。式では先生方の手の重みと、何よりイエス様の重みはずつしりと、頭とこの身にのしかかり、再創造されたかのごとく、新たな覚悟と緊張を覚えました。

キリストの十字架・復活・聖霊降臨に現される神の救いの出来事を宣教する使命に生きて参ります。キリスト者の幸い・希望は教会と御言葉にあります。草は枯れ、花はしほむが、御言葉は永遠です。キリストに結ばれた者が霊的に生かされ、世に派遣された日々で、怯え恐れることなく雄々しく歩む姿が、地の塩・世の光としてキリストの香りを世に伝わることを願います。

聖礼典の執行を許される正教師として主に仕え、失われた者を神の元へ戻し、共に神への供え物として献げる礼拝に仕え、キリストのものである一人ひとりを大切に牧せるよう教会に仕えて参りたいです。

## コロナ禍にある教会の声

### ✦コロナ禍での礼拝の取り組みについて

日野原記念上尾栄光教会  
長橋 和彦

「わたしの名によって集まる」ところには、わたしもその中にいる」(マタイ18章20節)

昨年3月の緊急事態宣言から私共も集まることに自粛をしました。ある期間を除き毎週自由が集まり、共に礼拝する当たり前が制限されました。

現在、教会のホーム・ページにより、皆が家庭や各場で、礼拝できるようにしてみました。

音声で、聖書朗読、説教を掲載、讃美歌唱も加えました。このために、毎週制作、改良する新たなご苦労を担う奉仕者がおられ、感謝しております。

また交わりの補完として、スカイプを使った会を試行錯誤しています。しかし、感染症予防から聖餐式の停止、施設や家庭への訪問も制限され、不十分を感じています。課題が残ります。解決、改善を、と教会では祈り話し合っています。改めて、礼拝や諸集会が制限されずに、共に集い、礼拝できることはいかに大きな恵みであるかを

を教えられます。

ある中東の国に勤務していた時、集会、伝道禁止を体験しました。そこでは、密かにある場所にも多数の外国人キリスト者が集まり、礼拝していました。毎回緊張しつつ、礼拝に出席したことを思い出します。かつて日本も信仰、礼拝の自由が奪われ、先輩たちが、大変厳しい体験をされました。

今、異なる事態ですが、当たり前にと与えられた「主の名によって集まる」礼拝の恵みに、感謝致したいと思えます。大切にしていきたいと学んでいます。

### ✦本庄教会における対応

本庄教会 正田義也

「神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働く」ということを、わたしたちは知っています」

(ローマ8章28節)

新型コロナウイルスの感染拡大以降、本庄教会でも主日の礼拝を継続するにあたって密閉・密集・密接をいかにして避けるかが課題でした。

当初、入口の消毒液設置、各々の体調管理の呼びかけ等を行っ

ていました。ところが、昨年4月7日に緊急事態宣言が発令されました。役員と協議を行い、本庄教会の自主的な対応として、4月12日の復活主日より会堂に参集せず、ネット中継による家庭礼拝に礼拝形式を切り替えました。ネット環境の利用が難しい兄弟には、講壇の牧師携帯から各ご家庭の固定電話等に電話を掛け、スピーカー音声での参加等を行いました。

礼拝に出席される兄弟には80代・90代の方々も多く、未信者のご家族の送迎や、施設から介護タクシーで来られています。本庄教会では、これらの兄弟の健康への配慮、主日礼拝へ送り出して下さる皆様への牧会的な配慮のもとに、前述した対応となりました。

宣言解除後は、会堂に集まるにあたって、会堂に換気扇(吸気用2基・排気用2基)や加湿器を導入し、聖餐式は紙コップを用いて接触を避けた方法での執行となりました。

コロナ感染症による不安の中で、今は最善の状況には見えないかもしれませんが、しかし、聖霊なる神様が共にいて働いてくださいます。主の支えに信頼し、この時を共に乗り越えさせて頂きましょう。

教会紹介



埼玉中国語伝道所開設以来、上尾合同教会礼拝堂において午後3時から礼拝を守り続けて20年。2020年に大宮会堂・川口会堂を拠点に新たな歩みを始められました。

埼玉中国語伝道所の新たな歩み

森永 憲治

コロナ禍での制約がある中でゼロからのスタートとして大宮と川口で礼拝を始めました。祈り、聖書を学び、宣教する日本基督教団の教会として、国籍は関係ありません。牧師・信徒が丸となって、主の栄光を現わそうというのが、埼玉中国語伝道所の使命であり抱負です。

大宮は埼玉の中心地であり、



まだ中国人教会が無いので、いざ大宮の中心地に、日本基督教団の中国人教会の活動拠点を置きたいと考えています。

一つの特長は、他の日本国内の中国人教会と比較して、設立当初から礼拝を中国語と日本語でしてきたように、中国人と日本人と一緒に活動してきた面が強いと思います。中国と関係の深い日本人は沢山いますし、そういう日本人クリスチャンが、先日ズーム礼拝でも参加してくださいました。中国とは何も関係ない日本人もいて、キリストを求めるのであれば誰でも歓迎。これは、今後も伝統として大事にしていきたいと思えます。

現在は、コロナ禍のため礼拝を金曜日の川口会堂と日曜日の大宮会堂をズームで行なっています。いざれコロナ禍が収束したら、活動計画はいくつかあります。

大宮・川口共に、現在の週に一度の活動を増やします。昨年11月にコロナ禍が急拡大する前までは、川口でも通常礼拝を行ない、交通の便がいいこともあり東京方面からも礼拝出席者がいました。また大宮でも埼玉北部の方で家庭集会を定期的にやろうという話でした。こ

うした交通の便の良さを活かして、また埼玉中国語伝道所設立から20年の人脈を活かし、着実に歩んでいきたいと思えます。

地区委員会からのお知らせ

『埼玉の夜明け』(通算151号/発行日:2018年8月5日)掲載記事について、「記事の内容が、いわゆる未受洗者配餐問題に対する日本基督教団の見解・対応とは一致しておらず、公的発行物に掲載するものとしては不適切ではないか」の意見や訴えが地区委員会に寄せられました。

この意見や訴えを受けて当時の地区委員会(川染三郎地区委員長)は、地区社会委員会発行の掲載文章について以下のような見解を示しました。

①社会委員が執筆した二つの掲載文章について、個人的な偏見が含まれ、看過できない内容であると思われる。

②当誌は地区会計により発行しているものであり、全教会が納得できる主張や意見を掲載することが望ましい事であり、地区通信合本発行の可否を含め、今後の扱いについて地区三役で社会委員会と協議する。

③この事を地区委員会(2018年度第4回)(2018年9月14日抜粋)を経て、社会委員会に「埼玉地区三役より社会委員会への意見と要望」(2018年10月9日付)を送り、「ある問題(今回の場合は未受洗者配餐問題)に対する日本基督教団の見解・対応と一致しない内容の記事は、あくまで公的発行物には掲載すべきではない」と提言する。

このような経過を経て、小林地区委員長を筆頭に地区三役が引き続き社会委員会・本間委員長と話し合いと訂正への要望を求め続けてきました。以来2年余の経過を得てこの度、漸く「訂正のお知らせ」が発表されましたので、下記の通り掲載し、お知らせします。

~~~~~  
 『訂正のお知らせ』  
 社会委員長 本間一秀  
 『埼玉の夜明け』第49巻第1号(通算151号)掲載文『内部崩壊が進む日本基督教団』本間一秀の記事を、埼玉地区委員会の指摘により、以下のようにならば訂正します。  
 \*第1段  
 ・2行目〜3行目  
 「不適切な牧会、理不尽な戒規」↓「牧会上の問題」

・7行目  
「1. 不適切な戒規の事例から」↓「1. 戒規を巡って起きていること」

＊第2段  
・後ろから2行目～3行目

「2. 憲教規違反を犯しても戒規御免の教師達」

↓「2. 牧会上の問題と日本基督教団の現状」

＊第3段  
・後ろから1行目

「他にも不適切な牧師の牧会姿勢」↓「他にも牧師の牧会姿勢」

＊第4段

・後ろから13～14行目

「内部統制の為の施策」

↓「対策を立てること」以上

### 地区委員会報告

2020年度第4回委員会

日時：11月6日(金)

会場：大宮教会 出席：9人

●主な報告：以下、承認。

・辞任

春日部 白石多美出(正)

・問安：1教会

・会計報告：9月9日から11月5日分

●主な協議事項：以下、可決。

1. 地区委員会主催集会等に関する件

・受按者

①新年合同礼拝開催の件

コロナ禍のため中止とする。

②地区総合協議会の件

2月5日(金) 19時から、大宮教会にて行う。

③地区総会開催の件

コロナ禍のため書面開催とする。詳細は三役一任。

④地区全体修養会開催の件

コロナ禍のため開催の是非その他については三役一任。

⑤地区デー・講壇交換の件

「講壇交換」は既に決定したものを除いて、コロナ禍のため止むを得ず中止とする。なお「地区デー献金」については振込その他の方法でお届け頂けるよう、協力を呼び掛ける。

2. クリスマスプレゼントについて

隠退教師13名(6万5千円)に支給する。

3. 諸申請に関する件

・教区負担金減免申請

朝霞、加須、菖蒲

閉会祈祷：指方周平

2020年度第5回委員会

日時：2021年1月15日(金) 会場：大宮教会

●主な報告：以下、承認。

・受按者

狭山 大久保一秋(正)

埼玉中国語 森永憲治(正)

所沢武蔵野 渡邊典子(正)

・教師辞任

越谷

鈴木恵子(正)

・問安：2教会

・会計報告：11月6日から2021年1月14日分

●主な協議事項：

以下、「5」を除き、可決。

1. 地区総会開催に関する件

日程・議員登録・議案報告書に関する提出書類等について確認と手配をした。

2. 教団伝道資金本年度運用及び次年度申請に関する件

別紙をもって報告と申請について説明。

3. 諸申請に関する件

・埼玉地区伝道支援金申請

久喜復活

看板設置費用 5万円

・教区教会互助「教師謝儀互助」申請

加須 93万円

秩父 80万円

鳩山 64万円

・教団年金掛金互助申請

教会負担分 本庄、秩父

各 3万4980円

教師負担分 本庄、秩父

各 3万5640円

・教区教会互助「緊急互助」申請

秩父 5万円

4. 2021年度教区総会に向けて設置委員会を設置する件

2020年度及び2021年度の地区委員で構成する設置委員会を設置する。

5. Zoom(スーム・ウェブ会議サービス(アプリ))利用の是非に関する件

Zoomによる活動は可能かどうか。Zoomの契約、その他について協議した。

6. 社会委員会(本間一秀社会委員長)の訂正文に関する件

(2018年の『埼玉の夜明け』掲載の本間委員長の文章に関して)別紙をもって一部修正の上、説明文を追記する他、仕上げは三役一任。

なお、3月発行予定の「地区通信」と「埼玉の夜明け」の両方に掲載する。

閉会祈祷：酒井道雄

2020年度第6回委員会

日時：2021年2月12日(金) 会場：大宮教会

●主な報告：以下、承認。

・会計報告：1月15日から2021年2月11日分

●主な協議事項：以下、可決。

1. 地区総会について

・書面開催、議員登録、総会議案(委員長報告・宣教計画・予算案)等について話し合った。

2. 諸申請に関する件

・埼玉地区伝道支援金申請

上尾使徒 案内板取替

3万2395円

伝道資金「教会協力費」申請

埼玉中国語 HP作成

5万2485円

3. Zoom利用の是非について

「埼玉地区からZoom活用のご協力をお願い」文を送付する。文案は三役一任とする。

4. 次回地区委員会予定について

2021年度第1回地区委員会を2021年4月9日(金)に行うことを確認した。

閉会祈祷：栗原 清

この年度はコロナ禍によって、地区の活動はほぼ中止となりました。

今号は、「コロナ禍にある地区」「授按教師の紹介」「コロナ禍にある教会の声」「教会紹介(埼玉中国語伝道所)」を寄稿していただき4頁に編集しました。この1年のご協力に感謝し、49-3号をお届けします。

(茨木公子)

編集後記

# 婦人部だより

No.39

委員長 石井 わか

今、新型コロナウイルス感染拡大は世界中に蔓延し、人類を脅かしています。日本でも昨年2月半ばより都市部から全国に感染拡大し、1年以上経過した今も尚、収束の兆しは見えない状況で、全ての日常生活が一変しました。

教会生活においても、聖日礼拝を守る事が精一杯というのが実情かと思われれます。

2020年度の婦人部の活動計画も殆ど中止を余儀なくされ心痛みます。総会は4月13日から5月11日に延期しましたが、4月7日から一か月間「緊急事態宣言」が政府より発出され、自粛期間が解かれてすぐに一堂に会する事は危険と判断し、書面議決の総会としました。初めての経験で戸惑いながらも、議決票の提出をもって皆様に承認頂き新年度をスタートできました事は感謝でした。

6月に群馬県伊香保温泉で

ですが、婦人部に届かなかった教会もあった様子で、お詫びいたします。

毎年10月から11月に開催の「もより婦人会」は、今年は各ブロックで相談の上、開催を決めて頂きました。7ブロック中、2ブロックのみ開催。残り5ブロックは来年に延期となりました。

アジア教会婦人会議日本委員会（ACWCJ）の一日研修会も中止でした。そして2021年の「世界祈祷日」（3月5日（金））については1区、2区、3区とも事務担当教会が準備中です。今年度もコロナの感染拡大を鑑みて、各個教会でバヌアツ共和国の婦人達を覚えて式文に基づき礼拝と献金をお捧げする形式になると思います。

総会も全体研修会も中止となったため、開会礼拝がなく、席上献金が献げられませんでした。予算にも組み込まれていただけに会計面では苦慮しますが、クリスマス献金は例年通り9教会・伝道所と7施設・学院にお献げする事ができ、感謝でした。

一番の課題は、次期委員の選出でした。規約に基づき7月から1区、2区、3区の十数か所の教会を次々に打診しました

が、今現在やつと3人が決まったところです。「5人が一度に交代するのではなく半数ずつ変わる様にした方が、引き継ぎも楽なのではないですか」と婦人部担当委員の山岡創先生からもアドバイスを頂きました。今年度はコロナ禍の影響もあり、特別かと思いますが、これからの大きな課題でもあります。

2020年度は、新型コロナウイルスに翻弄された1年でしたが、「耐えられない試練は決して与えない。そして又、試練には耐えられる様な道を必ずや備えていて下さる」と約束される主を信じて、前向きに歩む者でありたいと願います。

新委員を迎えての2021年度も地区内の教会・伝道所を絶えず覚え、祈りつつ、御旨にかなう歩みを続けて行きたいと願っております。皆様どうぞ宜しく、ご加禱、ご協力をお願いいたします。

最後に今年度のクリスマス献金先報告と次年度の活動計画を記載いたします。コロナウイルスの感染拡大が1日も早く収束に向かいますよう、そして、普通の日常生活を1日も早く取り戻す事ができますよう、切に祈ります。

☆2020年度クリスマス 献金先報告

(9教会・伝道所)

・朝霞教会・加須教会・菖蒲教会・秩父教会・深谷西島教会・埼玉中国語伝道所・鳩山伝道所・桶川伝道所・久喜復活伝道所。

(7施設・学院)

にじのいえ信愛荘・アジア学院・久美愛園・神愛ホーム・光の子どもの家・ホザナ園・三愛学園

☆2021年度活動計画

◎地区婦人部総会

・書面議決による総会

◎関東教会教会婦人会連合

第47回総会・修養会

・6月3日(木)(日帰り)

・会場 栃木県宇都宮市

ホテルニューイタヤ

◎アジア学院生ホームステイ

プログラム……中止

◎地区婦人部全体研修会

・7月 於・大宮教会

◎アジア教会婦人会議日本委員会1日研修会(超教派)

・日程及び会場は未定

◎もより婦人研修会

第1ブロックII浦和別所教会

第2ブロックII浦和東教会

第3ブロックII東京聖書学校

吉川教会

第4ブロック 桶川伝道所  
 第5ブロック 越生教会  
 第6ブロック 三芳教会

川越教会

第7ブロック 深谷西島教会

◎クリスマス献金先の検討

◎「婦人部だより」編集

◎NCC主催「世界祈祷日

(超教派)に協力

・2022年3月4日(金)

1区会場 (東京聖書学校

吉川教会)

事務担当 (上尾使徒教会)

2区会場・事務担当(飯能教会)

3区会場 (カトリック熊谷

教会) (熊谷教会)

事務担当 (北本教会)

ご協力のほど、どうぞ宜しく  
 お願い致します。

**もより婦人会研修会**

例年10月〜11月にかけて開催される「もより婦人研修会」ですが、今回はコロナウイルス感染拡大の不安がまだ拭き切れない状況を鑑みて、開催については当番教会が中心になりブロック内の教会の皆様と相談の上、決めて頂きました。その結果、7ブロック中2ブロックのみの開催でした。

以下に感想文を掲載し、報告させて頂きます。

**4 2ブロック 七里教会担当**

もより婦人研修会を

振り返って

七里教会 魚野美智子

・10月27日(火) 10時半〜12時

・講師 小林則義牧師

「障がいと共に歩む教会」

・出席者数 19名

小林則義牧師(七里教会)のお話は、七里教会はどのように障がいを持った方と関わっているかということから始まり、

教会は「弱さを持った人」を中心に組み立てられるべき、と言われました。そしてそこには温かい人間関係が必要であると

…。しかし、関わる中で様々な混乱が生じて、疲れ果てたりする時もあります。そんな時は

コリント書13章「愛の賛歌」を読むことを勧めていただき、お話しは終わりました。

様々な制約があり、限られた時間の中ではありましたが、実

りある研修会ができましたことを感謝いたします。

**4 5ブロック 飯能教会担当**

もより婦人会

飯能教会 菰田 愼恵

・10月4日(日)

・講師 木村光寿牧師

「弱さと向き合って」

・8教会・伝道所48名参加

(講演をCDにして配布)

地区婦人部より第5ブロック

担当の連絡がありました。コロナ禍の中にあつて、聖日礼拝

すら感染対策に苦慮しつつ行っているのに、他教会から多

くの婦人達を招いて研修会を行う事は難しいと判断し、CD

を作成して、各教会の婦人部活動の折に活用していただく事

としました。説教と奏楽を録音、説教原稿を添えて配布させて

いただきました。

各教会で工夫して活用して

下さり、婦人会員だけでなく教

会全体で学び、交わりの時が持

てたと感謝のご報告をいただきました。

主の豊かなお導きと祝福を

心より感謝しております。

**アジア学院ホームステイ  
プログラム中止のお知らせ**

表題について、主催側の全国教会婦人会連合世界教会運動委員会から以下のお知らせがありました。地区婦人部の今年のこの活動は「中止」となりませんが、コロナ感染収束が見られず、コロナ感染の働きに参加する来年には、継続してこのプログラムへの協働の働きに参加していきますのでよろしくお願いたします。

**「抜粋」**

毎年、貴地区の年間活動の中に、アジア学院のホームステイプログラムを加え、ご協力いただいておりますことを感謝いたします。しかしながら、昨年に引き続きコロナ感染症の収束が見られないため、今年の開催も難しいことを判断し、アジア学院と協議した結果、今年も中止することを決定しましたのでお知らせいたします。

婦人会連合が40年余に亘って開催しておりますこのプログラムは、日本が初めてのアジア・アフリカからの学生のための研修カリキュラムとしてアジア学院にとつても定着していますので、再開の折にはよろしく願いたします。

(世界教会運動委員会)

**2021年  
世界祈祷日**

今年もコロナ感染拡大による自粛傾向の中で、世界祈祷日を必ずしも3月第1金曜日に従来通りの開催ではなく、1年かけて、都合の良いときに開催してほしいとのご案内がNCC女性委員会から届いていましたので、左記に紹介します。

また、世界祈祷日(バヌアツ共和国の教会女性作成)の式文をまだお申込みでない方は是非お申込み下さい!

**ご案内**

◇3月第1金曜日にこだわらず、最適な時期に開催して下さい。時期をずらして開催する事も可能です。

◇集会の当番教会、担当者は各個教会、家庭集会、又は有志による少人数の礼拝への参加を呼びかけて下さい。

◇近隣の教会と一緒に開催する事も考え下さい。

◇三密を避けるため、各個教会で参加代表を数名に絞って、工夫して開催して下さい。その際、各教会で献金をまとめ下されば幸いです。

(NCC女性委員会)